

## BACKNUMBER

[https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine\\_anzen\\_report/](https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anzen_report/)

## 船舶同士の衝突事故に気をつけましょう！ ～見張りをしっかりと～

漁船A丸は、漁を終え帰港のため、南方向へ航行中に船首方向において漂泊・操業中の漁船B丸に気づかず、突然、船首の死角部分から漁船B丸の一部が現れたことからあわてて機関を中立にするも回避できず、漂泊中の漁船B丸と衝突し、その衝撃で転覆させてしまいました。

一方、漁船B丸については、後部甲板で漁船A丸と反対を向いて操業し、適切な見張りをしていなかったことから、接近してくる漁船A丸に気づくことができず衝突してしまいました。



漁船B丸は転覆し船長は海中転落しましたが漁船A丸により救助されました。



### 海上にいる時は周囲をしっかりと確認しましょう

この事故は両船ともにしっかりと見張りをし、避航動作をとれば、防げた事故です。航海中のもとより、漂泊中も周囲を確認し、接近する船舶がいた場合は相手船が自船の存在に気づいていないこともあると考え、機関を使用し避航するようにしましょう。

また、プレジャーボートにおいても同様な衝突事故が夏季に増加する傾向があります。注意しましょう！



# 7月は機関故障に注意！発航前検査を！

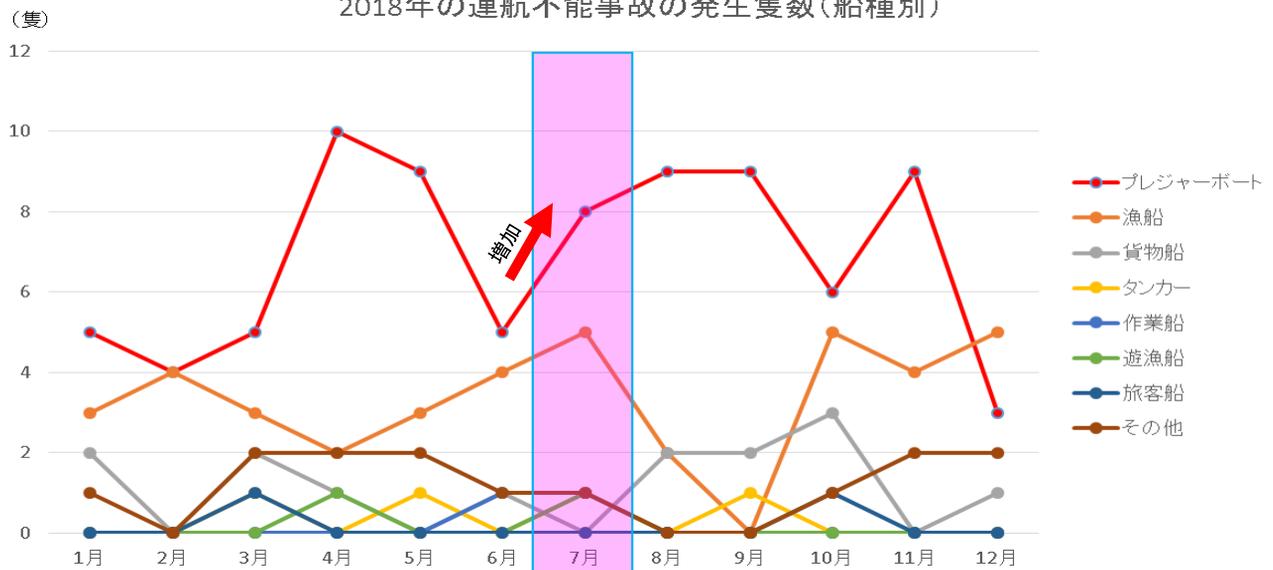
～昨年を振り返り過去に発生した事故から見た傾向～

昨年の7月に発生した事故の傾向を調べたところ、運航不能の事故発生数が一番多く、これを船種別に見るとプレジャーボートによる事故が多くなっていました。

運航不能に陥った原因を確認したところ「機関故障」がほとんどであり出港前に機関等の状況確認を行っていれば防げた可能性があります。

出港前に「**発航前検査チェックリスト**」による点検の実施、長期間使用していない場合は、予め業者による点検を受ける等して、機関故障による事故を防ぎましょう。

2018年の運航不能事故の発生隻数(船種別)



## 緊急情報配信サービス(電子メール配信サービス)

<http://www7.kaiho.mlit.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>



新規登録・登録変更・登録解除は、上記のURL、二次元コードの案内から、指定のメールアドレスへ空メールを送信し、返信される案内メールに沿って行ってください。

灯台などで観測した気象・海象の現況、海上工事の状況などの「海の安全情報」をインターネットから提供しています。

HPへは海の安全情報で検索！

海の安全情報

検索

※海の安全情報の緊急情報配信サービスに登録すると「灯台で観測したリアルタイムな気象情報」「竜巻目撃情報・突風に関する緊急情報」「航行に支障をきたす流木などの漂流物情報」などの情報を入手することができます。(登録は無料ですが、データ通信料は発生します。)